

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	生涯学習講演会開催事業補助金		担当課	生涯学習課		実施方法	補助金
				事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		その他の内容	
	事業の目的	地域の中で、人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。						
	見込まれる成果	地域の中で人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供できる。						
	右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	800	800		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	800	800	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○補助金交付 1. 事業主体 南相馬市生涯学習講演会実行委員会 2. 補助上限 800千円 3. 補助率 定額 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		補助金交付件数	1件	0件
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	E	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	D	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 本事業は、旧鹿島町時代から継続して実施していた事業で合併後も引き継いだ事業である。歴史的経過はあるが、実行委員会の委員長は鹿島区内の小中学校PTA会長等が持ち回りで行ってきている。令和に入り、新型コロナウイルス感染症により、2年度、3年度と開催を見送っており、実行委員会の意欲も低下していることは否めないこと、また、4年度には福島県沖地震によりメイン会場となるさくらホールが大きな被害に遭い、委員からは手法としてリモート開催ができないかなどの意見も出てきており、大きな過渡期を迎えている。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	拡充
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	高等学校開放講座事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。						
	見込まれる成果	市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、趣味や知識を深め、技術の習得を図る機会を提供するため、市民の学習意欲の向上が期待できる。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

市民への学習機会の提供を積極的に行うため、今回新たに美術系の講座を実施し、さらに内容の充実を図る。

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	245	387	387		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	245	387	387	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○市内の県立高等学校との連携による各種講座の実施 1. 相馬農業高等学校 実施回数 3回 参加者61人 講座内容 第1回目 令和3年 6月19日(土)「いえde旬べじづくり講座」/材料費 1,000円 第2回目 令和3年 9月26日(土)「小麦粉から作る 焼きたておうちパン講座」/材料費 500円 第3回目 令和3年12月18日(土)「手作りミニ門松を迎えるお正月講座」/材料費 1,000円 2. 小高産業技術高等学校 実施回数 1回 参加者12人 講座内容 第1回目 令和3年 8月 7日(土)「マイコンカープログラミング学習」/材料費 無料 2. 原町高等学校 実施回数 2回 参加者18人 「ゼロから始められる秋を描く日本画」/3,000円(2回分) 講座内容 第1回目 令和3年9月18日(土)、第2回目 令和3年10月2日(土)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	講座実施回数	7回 6回

令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績
A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化

理由
A 現状のまま継続
B 改善しながら継続
C 事業規模拡大
D 事業規模縮小
E 事業廃止・完了

市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、趣味や知識を深める機会を提供するため、毎年実施している講座であり、人気が高い。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座が実施できなかったが、新たに原町高等学校においても開放講座を実施することになった。市民の期待が高い事業でもあることから、今後も、市民ニーズに応じた魅力的な講座となるよう、実施回数の拡充を図る。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	生涯学習センター施設営繕事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。						
	見込まれる 成果	地域住民が中心となり活動の輪を広げていくため、施設利用者が安全・安心に利用することができ、地域に根差した生涯学習施設の充実を図る。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	10,296	26,169			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		2,100	26,169			
一般財源	8,196	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○市内生涯学習センターの施設整備工事 1. 原野生涯学習センタートレーニングルームエアコン設置工事 2. 大甕生涯学習センター和室エアコン設置工事 3. 鹿島生涯学習センター男子便所洋風便器改修工事 4. ひばり生涯学習センター舗装改修工事		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		生涯学習施設の利用件数	5,200件	4,967件

事務事業の成果(活動)指標達成度: B 令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績
A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、修繕が必要な状態になってから事後的に修繕を行うのではなく、損傷が軽微である早期段階において予防保全的に修繕を行うなど、施設営繕計画に基づき継続して施設営繕事業を実施する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	生涯学習講座事業	担当課	生涯学習課	実施方法	直営
	事業の目的	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進するとともに、市民ボランティア及び行政職員等による出前講座を実施する。				
	見込まれる成果	生涯学習センターの各種講座・学級等とおし、地域住民がコミュニティを形成しながらいつでもどこでも気軽に生涯学習を学べる機会を提供する。				

右左「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	2,386	4,085	4,085	
	財源内訳				
	国庫支出金				
	県支出金				
地方債					
その他					
一般財源	2,386	4,085	4,085	0	

3 事務事業の実績	事務事業内容	1 各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催(19学級・29講座・生涯学習チャンネルによる動画配信14回) (1)参加者数 2,957人 (2)実施時間 434時間 (3)実施回数 213回 (4)講師謝礼 1,286,000円 2 生涯学習まちづくり出前講座の実施 (1)実施回数 140件(うち市民ボランティア講師 88件、行政・公共団体等52件) (2)参加者数 3,253人 (3)メニュー表作成 発行部数 2,200部 発行時期 令和3年6月 講座メニュー数 359講座(行政・公共機関等:153件、市民ボランティア:206件) 講師登録者数 93人(行政・公共機関等:32人、市民ボランティア:61人) (4)講師謝礼 176,000円		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	B	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座については、対面での講座から動画配信による講座とするなど、工夫を図ったところである。今後は、対面での講座と併せ、YouTubeを活用した更なる動画配信に力を入れ、受講者が「いつでも・どこでも」学習できる環境を整えていこう、改善を図りながら、継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	中学生職場体験等支援事業	担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し、社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。					
	見込まれる成果	生徒が将来の夢や目標を持つことで高等学校への進路に対する関心が深まるとともに、勤労・職業に対する意欲の向上と自立促進を図る。また、地域の方々と触れ合い人間形成の過程における貴重な経験ができる。					
	右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	232	443	443	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他		443	443
一般財源	232	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	1. 中学生職場体験活動・福祉体験活動の支援 (1) 担当者説明会 期日 令和3年5月25日(火) (2) 職場体験・福祉体験活動期間中の取材 実施校 市内6中学校 期間 令和3年9月7日(火)～22日(木)、10月14日(木)～15(金) 生徒数 443人(実数) 受入事業所 152事業所(延べ) (3) 市内受入事業所の調査 期間 令和4年2月15日(火)～3月4日(金) 2. 職場体験活動情報誌「体験! Working!」の発行 (1) 発行日 令和4年1月11日 (2) 発行部数 4,500部 (3) 配布先 市内中学校(全校生徒・教職員)、受入事業所、公共施設等		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 中学生という将来を考える大切な時期において、進路への意識や意欲の向上等が期待できるよう、職場体験・福祉体験活動の支援を行っているものである。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験を受け入れることができない事業所があったものの学校側が体験日程等を変更しながら活動を実施した。各事業所においても、地域で子どもたちを育成しようという意識を醸成する大切な事業であるため、今後も事業内容の充実を図り、継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(2) 子育て世代や若壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	
※令和2年度の3事業が統合したもの ・紅梅の里・親と子の絆づくり体験事業 ・子ども自然体験学習事業 ・子ども交流支援事業補助金								

1 事務事業の内容	事務事業名	こども探検隊事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。						
	見込まれる成果	自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供することで、子どもの学習意欲の向上と好奇心を引き出すことが期待できる。						
右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	999	2,965			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		415	1,465			
一般財源	584	1,500	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>【親子の絆づくり体験】 ・対象 小高小・中学校の児童生徒 ○草木染め体験事業 ・期日 令和3年8月1日(日) ・会場 小高生涯学習センター ・内容 玉ねぎの皮を煮出して作った染液で白布に思い思いの模様を描いた。 ・参加人数 27人 ○移動水族館交流事業 ・期日 令和3年10月16日(土)～17日(日) ・会場 小高生涯学習センター駐車場 ・内容 「小高区文芸・美術作品展」の開催に併せ、アクアマリンふくしまの移動水族館「アクアバ」を展示した。 ・来場者数 197人 ○ガラスボール付キャンドル作り体験事業 ・期日 令和3年11月20日(土) ・会場 小高生涯学習センター ・内容 クリスマス仕様のガラスボール付キャンドルを制作した。 ・参加人数 22人</p> <p>【親子による自然科学体験】 ・対象 小学生とその家族 ○ほたるの観察会 ・期日 令和3年6月26日 ・参加人数 24人 ○野菜収穫体験 ・期日 令和3年8月21日 ・参加人数 16人 ○そば打ち体験 ・期日 令和3年10月24日午前(1回目)、10月24日午後(2回目) ・参加人数 1回目 14人、2回目 18人 ○遠路体験 ・期日 令和3年11月21日 ・参加人数 17人 ○子ども交流支援事業補助金 ・内容 招待交流事業実施に伴う経費の補助 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1,836千円(当初) 交付額 684千円</p>			
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	親子の絆づくり体験事業 親子自然科学体験事業 実施回数	5回	8回
令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施					

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了
新型コロナウイルスの影響により一部事業が中止となったが、参加者の学習意欲の向上を図ることができたと評価している。令和4年度は、初の試みである「バルクール体験事業」や新型コロナウイルスの影響により2年間中止となっている他市町村(長崎市ほか)との交流事業を感染症対策を徹底したうえで実施し、引き続き子どもたちに生涯学習の場を提供していきたい。				

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(2) 子育て世代や若年層が参加しやすい生涯学習機会の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	96,000人	96,000人	97,000人	

1 事務事業 の内容	事務事業名	家庭教育支援総合推進事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。						
	見込まれる 成果	家庭・地域・学校・社会における地域環境づくりを推進し、家庭教育力の向上に繋げることが期待できる。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・ 決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	132	589	589		
	財源 内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		589	589	
一般財源	132	0	0	0		

3 事務事業 の実績	事務事業内容	○団体及び学校等が実施する講師謝礼金の支援 6件 1. 子育て学習講座 0件 2. 家庭教育講座 4件 210人 (幼稚園、保育園・小中学校) 3. 就学児童子育て講座 2件 46人 (小学校) 4. 大学公開講座 0件(市PTA連絡協議会共催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	B	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了

理由
市内で活動する子育てサークル、NPO団体、企業に対し、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を継続的に
行っているものであるが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の実施を見送る
団体が多かった。今後も関係団体のニーズ等を把握し、本事業をより活用してもらえるような手法を検討し、事業を
継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(2) 子育て	施策	⑥ 子育て環境の充実	
------------------	------	----------	------	---------	----	------------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(3) 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,230人	94,800人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	図書館ブックスタート事業		担当課	中央図書館		実施方法	直営
	事業の目的	赤ちゃんと保護者が絵本を通して、心がふれあう時間を持つきっかけをつくるため、10か月児健診の機会に絵本の配布等を実施する。						
	見込まれる成果	乳幼児が本と出会うことができる環境をつくることで、乳幼児と保護者にふれあいの時間をもたらすとともに、子どもの心と言葉を育て、想像力豊かな人間形成に資する。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	787	700	700		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		787	700	700		
一般財源	0	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>○実施内容</p> <p>①絵本の読み聞かせ ⇒コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <p>②絵本及び赤ちゃんの絵本リスト冊子の配布 320冊</p> <p>○訪問先及び訪問回数 ※健康づくり課の健診日に合わせて実施</p> <p>①原町保健センター(12回訪問)</p> <p>②鹿島保健センター(4回訪問)</p>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績	

A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等)
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？
	事業の方向性	A	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、従来行っていた絵本の読み聞かせはできなかったが、絵本とバックの配布は予定通り実施した。また、選ぶ絵本の種類を増やしてほしいと保護者からの声を受け、令和3年度は配布する絵本の種類を増やす改善を行った。図書館の利用者を増やすという成果指標に対しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響があり、目標値に届いていないが、幼少期の本との出会いは、乳幼児と保護者にふれあいの時間をもたらすとともに、子どもの想像力豊かな人間形成に資するものであり、また、令和3年度に絵本の種類を増やす改善を行っていることから、現状のまま継続とする。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策 (3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実		
--------------	------	----------	-------------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(3) 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,320人	94,800人	96,000人	97,000人	
								—

1 事務事業の内容	事務事業名	図書整備事業		担当課	中央図書館		実施方法	直営
	事業の目的	市民の多様な資料要求に応えるとともに、学習・文化・教養・調査研究等に寄与するため、図書館資料を整備する。						
	見込まれる成果	市民の暮らしや仕事などに役立つ多様な資料を提供することにより、市民の学習、文化、教養、調査研究等に資する。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	24,214	24,426	24,334		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	24,214	24,426	24,334	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○実施内容 ①子どもから高齢者までのあらゆる世代に向けた読書活動を推進するとともに、図書館資料の充実を図った。 ②障がい者への読書活動支援のため、デジター図書や大活字本の充実を図った。 ③継続的に洋書を購入し、外国語に対応した資料の充実を図った。 ④震災・原発事故関連の資料を収集・保存し、提供した。 ⑤電子図書導入に向けた検討を行った。 ○図書館資料等購入 図書、CD、DVDなど 14,980点 ○購入CD、DVDマーク作成業務委託 ※デジター図書：デジター(DAISY)はDigital Accessible Information Systemの略。視覚障がい者や弱者、その他様々な理由で通常の印刷物を読むことが困難な人のために、印刷物をデジタル化して録音した資料。草ごとの頭出しやページ移動、読み速さや声の高さの調整などができる。デジターに対応した再生機が必要。		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	図書館の利用者数	94,800人 75,320人

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館が2回あり、予約本の受け渡しなど臨機応変に対応したが、休館の影響は大きく、成果指標である図書館の年間利用者数は目標を下回った。一方で1日当たりの平均貸出数はコロナ以前の令和元年度を上回っており、引き続き市民の暮らしや仕事に役立つ多様な図書資料の整備を継続していく。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(3) 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,320人	94,800人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	移動図書館管理運営事業		担当課	中央図書館		実施方法	直営
	事業の目的	市民の誰もが身近なところで等しく図書館を利用できるようにするため、移動図書館車を運行する。						
	見込まれる 成果	移動図書館車を火曜日から金曜日まで週4回運行することにより、図書館を利用しづらい子どもや高齢者の方々の読書支援に資する。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	3,896	4,098	4,189		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	3,896	4,098	4,189	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>○実施内容 子どもから高齢者まで市民が身近な場所で図書の利用が受けられるよう、移動図書館車を市内全域に運行した。</p> <p>○運行場所 ①幼稚園・保育園・認定こども園 17か所 ②災害公営住宅 6か所 ③公共施設(生涯学習センターなど)10か所 合計33か所</p> <p>○運行日 週4日(毎週火曜日から金曜日まで)</p>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化

事業の方向性	A	理由	<p>A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響で、成果指標である図書館の年間利用者数は目標を下回ったが、移動図書館管理運営事業は、運行中止期間があったものの、事務事業の成果実績は計画で定めた指標を上回っており、図書館全体の利用にも間接的に良い影響がみられることから、現状のまま継続とする。</p>
--------	---	----	--

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(1) 学校教育	施策	②教育水準の向上	
------------------	------	----------	------	----------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	1 生涯学習の充実	取組方針	(3) 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	生涯学習関連事業の延べ参加人数		14,123人	8,093人	14,000人	14,100人	14,200人	
	図書館の利用者数		92,333人	75,320人	94,800人	96,000人	97,000人	

1 事務事業の内容	事務事業名	学校図書館支援事業		担当課	中央図書館		実施方法	直営
	事業の目的	小中学校の学校図書館における自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するため、担当教諭等と連携して学校図書館の整備や利用促進を図る。						
	見込まれる 成果	学校司書と連携し、学校図書館の充実を図ることにより、読書活動の推進・調べもの学習の充実が図られる。 (なお、当事業は、令和2年度から学校司書配置事業(学校教育課)として再編されているが、今後も図書館では、学校司書との連携を図り、学校図書館の充実を支援していく。)						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○実施内容 ・資料の受入、整備、貸出 ・レファレンスサービス、資料選書 ・図書委員会活動支援 ・学校図書館の蔵書構成や棚づくりへの助言 ・調べ学習等の資料提供による学習活動支援 ・学校司書を対象とした研修会や情報交換会の実施 (学校司書) 人数 13人 18校中 専任配置 6校 兼任配置 12校		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	C	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る諸対応により、児童・生徒の学校図書館の利用に制約があったが、学校図書館の図書館システムの整備・運用開始や、学校司書による蔵書整備、調べ学習等の学習活動支援などにより、学校図書館における一人当たりの年間貸出数が大きく伸びた。 教科書掲載内容に基づいた学校図書館関連の授業依頼の増加など、学校図書館と学校司書へのニーズは高まっており、今後も計画的に学校司書を増やし、専任化を進めていくことから、事業の方向性は、事業規模拡大とするもの。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策 (3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実
------------------	------	----------	-------------------	----	----------

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(1) 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業 の内容	事務事業名	市民文化会館管理運営事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	市民文化会館運営管理業務を安全かつ効率的に行い、地域の文化振興拠点とするため、適正な管理運営を行う。						
	見込まれる 成果	良好な芸術文化活動の場の提供ができることで、施設利用者の利便性の向上と安全安心な施設の利用が図られる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	80,487	145,168	100,000		
	財源 内訳	国庫支出金	3,623			
		県支出金				
		地方債				
		その他	79	128,897	82	
一般財源	76,785	16,271	99,918	0		

3 事務事業 の実績	事務事業内容	○事業内容 施設の維持管理に必要な改修工事等 1. 誘導灯他更新工事 2. 舞台照明設備調光操作卓等改修修繕 3. 屋上防水他改修工事 4. 自動ドア修繕 5. ピアノ庫空調機入替修繕 6. 客席上部クセノンピンスポットライト固定修繕 7. 照明制御装置(パネルコンピュータ及び基板類)修繕 8. スプリンクラー設備修繕 9. 空調設備等改修工事		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	指定管理者との協議及び工事施設等の巡視	年4回以上
		A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	B	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了
理由		当該施設は、地域住民の芸術文化活動の場となっており、例年約8万人もの利用者がいることから、利用頻度は高く、施設利用者の利便性の向上と安心・安全な施設の利用を図るため継続して事業を実施する。		

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(1) 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	芸術文化協会等事業補助金		担当課	生涯学習課		実施方法	補助金
	事業の目的	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。						
	見込まれる成果	市芸術文化協会の芸術文化活動の活性化と、芸術文化に触れる機会の充実に図られる。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,279	1,700	1,700		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,279	1,700	1,700	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○補助金交付 ※新型コロナの影響により一部事業中止 1. 事業主体 南相馬市芸術文化協会 2. 補助金額 1,279千円 3. 補助率 定額 4. 内容 文化祭、情報紙発行、芸能発表大会、短歌大会等、各区芸術文化協会事業の開催 【実施事業】・原町区文化祭・原町区機関紙発行・鹿島区芸能発表大会 ・万葉の里短歌大会・鹿島区加盟団体情報紙発行		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 新型コロナの影響により芸術文化協会が実施予定としていた7事業のうち5事業の実施となったため、補助金額が減額した。 芸術文化協会の会員の高齢化及び会員の減少が課題となっており、芸術文化協会が実施する芸術文化事業に係る負担軽減を図ることで継続してイベント等の活動ができるとともに、市民の芸術文化活動の振興及び育成のため有効な事業であることから、補助金を交付し継続して支援する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(1) 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	地域文化振興助成事業補助金	担当課	生涯学習課		実施方法	補助金
	事業の目的	市民の芸術文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。					
	見込まれる成果	市民の自主的な芸術文化活動に補助金を交付することにより、芸術文化団体の活動支援と地域文化の振興が図られる。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	314	1,395	1,395		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他						
一般財源	314	1,395	1,395	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○補助金交付 1. 事業主体 市内の個人又は団体 9件 2. 補助率 補助対象経費の1/2以内(上限あり) 3. 対象事業 成果発表、大会出場・出品・派遣、地区文化祭、文化財保護等		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		補助金交付件数	30件	9件
事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	B	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	C	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 新型コロナの影響により、芸術文化団体等が実施する成果発表及び地区文化祭については、自粛する団体が多く補助件数が減った。 練習の成果を披露することは日ごろの芸術文化活動の活力につながることも、また、市民が芸術文化にふれる機会の創出となっており、地域の芸術文化活動の振興及び育成が図られることから、継続して支援する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑥芸術文化の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(2) 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	文化芸術ふれあい事業	担当課	生涯学習課	実施方法	直営
	事業の目的	市民が芸術文化に触れる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動拠点とする民間団体等や市民アートサポーターと協力しながら創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。				
	見込まれる成果	市民参加型の文化芸術事業を実施することにより、市民が芸術文化に触れ、創作に参加する機会の充実を図ることができる。				

右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,526	3,048	3,048		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,526	3,048	3,048	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>1. 市民アートサポーター(※)とアーティストの交流 「アーティスト・イン・レジデンスみなみそうま 群青小高2021」 内容 市外アーティストを招へし、小高区に滞在するなかで、小高をイメージしたアート作品を制作いただき、作品の展示会及び制作過程を市のInstagram等で情報発信し一般公開した。 作品制作等期間 令和3年12月中、アーティストの滞在希望期間により、各々活動し作品制作及び展示等を実施。 招へいアーティスト 4名</p> <p>2. アート映像等の作品上映 期日 令和3年6月5日(土) 場所 国登録有形文化財「朝日座」 内容 ・令和2年度事業「URAJIRI Online ぶらぶらアートの遺跡の現場説明会」の映像上映 ・講師による講演(トークショー) ・映画「縄文にハマる人々」上映 講師 安芸 早穂子氏(縄文復元画家) ほか</p> <p>※「市民アートサポーター」:市内でアートイベント等の経験がある市民(現在3名)で構成するもので、事業の企画から開催までを協力していただく。</p>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	B	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	B	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 本事業は、地域の文化資源を活用した市民参加型のイベントで、市民が身近に芸術文化にふれることができ、生活にゆとりや潤いを与えるとともに、地域の魅力を再発見できる機会となることから継続して実施する。 令和3年度に新たに企画したイベントで、展示会等の周知期間が短くなってしまい本事業を広く市民へ周知できなかったため、周知の強化を行うとともに、イベントの開催方法等の改善を図り、継続して実施する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(2) 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	市総合美術展覧会事業		担当課	生涯学習課		実施方法	直営
	事業の目的	美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。						
	見込まれる成果	市総合美術展覧会事業を開催することにより、市民の創作意欲・技術の向上と美術・芸術への理解と関心が高まり、自らも文化活動に取り組むきっかけとなることが見込まれる。						
右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,536	2,541	2,541		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,536	2,541	2,541	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○第15回南相馬市総合美術展覧会 ※新型コロナの影響により一般公開中止 展覧会 会期 令和4年1月22日(土)～25日(火) 会場 万葉ふれあいセンター「鹿島農村環境改善センター」 ※作品の展示及び審査会を実施し受賞者決定。 ※みなみそうまチャンネルで展示作品上映及びホームページで受賞作品を掲載。 ○表彰式、子ども茶道教室参加児童生徒による茶会、ワークショップ ※新型コロナの影響により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	
市総合美術展覧会の開催		1回	1回	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
	事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他	
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 新型コロナの影響により、一般公開が中止になり市民の方に鑑賞していただけなかった。 本展覧会の開催は、市内の芸術文化活動を行う作家等の創作意欲と子ども達の情操の育成が図られる。また、市民の芸術文化への関心が高められ、心豊かな感性と創造性を育むことのできることから現状のまま継続して実施する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(2) 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	学校等市民文化会館利用支援補助金	担当課	生涯学習課		実施方法	補助金
	事業の目的	学校等の芸術文化及び教育活動の振興を図るため、行事等で市民文化会館を利用する学校等に対し、利用料金の一部を補助する。					
	見込まれる 成果	行事等で市民文化会館を利用する学校等に対して補助金を交付することにより、文化施設を利用した芸術文化に触れる機会と部活動の充実が図られる。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,597	1,900	1,900		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	1,597			
一般財源	0	1,900	1,900	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○補助金交付 1. 事業主体 市内の幼稚園、保育園、小中学校及び高等学校等 9件 2. 補助率 対象経費全額又は1/2(回数制限あり) 3. 対象経費 学校行事、部活動で市民文化会館を利用した際の施設利用料金及び附属設備利用料金			
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	補助金交付件数	11件	9件		
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
	事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他	
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 令和元年度から事業主体を幼稚園や保育園まで拡充している事業で、幼少期から本格的な施設で芸術文化を親しむ習慣を身につけることで、情操を育む一助となっている。新型コロナの影響により、広い会場で学校行事を行いたいのことから、市民文化会館を利用する学校も増えていることから、現状のまま継続して支援していく。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑧芸術文化の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	2 芸術文化の充実	取組方針	(2) 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	芸術イベントの開催件数		64件	39件	75件	78件	81件	

1 事務事業の内容	事務事業名	ふるさと民俗芸能伝承事業	担当課	生涯学習課		実施方法	直営
			事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		その他の内容	
	事業の目的	伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。					
	見込まれる成果	伝統芸能に触れる機会を作ることで、伝統芸能の保存伝承と後継者育成が、今後も継続して行われることが期待できる。					

右左「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	45	78	78		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	45	78	78	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○市内小中学校等において、相馬流れ山踊りなどのふるさと民俗芸能の指導を行った団体、指導者への謝礼を支援する。 団体講師謝礼:1講習(5,000円)9回 個人講師謝礼:1講習(4,000円)0回		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		個人・団体講師による講習会	18回	9回

事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施
------------------	---	--

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
4 評価	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 子どもたちへ伝統芸能へふれる機会をつくることで、伝統文化の大切さや地域への愛着が育まれる。また、後継者育成にもつながることから、現状のまま継続していく。ただし、学校教育課で実施している「特色ある学校づくり事業補助金」へ申請する学校もあり、事業実績が50%と成果が低くなっていることから、事業の廃止も見据えて検討が必要と考える。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	南相馬市・杉並区スポーツ交流事業補助金	担当課	スポーツ推進課	実施方法	補助金
	事業の目的	市民がスポーツに親しむ機会を拡充するとともに、スポーツ団体等を活性化させることで、震災後のスポーツ活動の復興に繋げるため、杉並区とのスポーツ交流事業を実施する団体に対し、補助金を交付する。				
	見込まれる成果	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充や、スポーツ団体等の活性化が図られる。また、スポーツ交流を契機としての交流人口の拡大につながる。				
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	3,710	5,767		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		0				
一般財源	0	3,710	5,767	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化を図るため、杉並区を中心としたスポーツ交流を推進する事業であるが、新型コロナウイルスの影響により対象事業すべての派遣が中止。 ○対象団体 杉並区とのスポーツ交流事業実施団体 ○対象事業 ・少年野球交流大会(南相馬市少年野球連盟) ・杉並区交流自治体スポーツ交流大会(南相馬市バレーボール協会) ・杉並区中学校対抗駅伝大会(南相馬市陸上競技協会) ・南相馬市・杉並区・取手市少年野球交流大会(南相馬市少年野球連盟) ・交流自治体中学生親善野球大会(南相馬市野球協会) ・南相馬市・杉並区・取手市ミニバス交流大会(原町ミニバスケットボール少年団)			
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		
事務事業の成果(活動)指標	杉並区との交流事業数	6事業	0事業		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を実施できず、成果指標が悪化したが、多種多様な自治体とのスポーツ交流への参加市民の割合を引き続き高め、子どもたちを中心としたスポーツに親しむ機会の拡充や競技力の向上、スポーツ交流による交流人口の拡大を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。	
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人

1 事務事業の内容	事務事業名	スポーツ交流事業		担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	市民のスポーツに親しむ機会を拡充するとともにスポーツ団体等の活性化や震災後のスポーツ活動の復興に繋げるため、交流自治体とのスポーツ交流事業を実施する。		事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		その他の内容	
	見込まれる成果	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充や、スポーツ団体等の活性化が図られる。また、スポーツ交流を契機としての交流人口の拡大につながる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	0	932	932	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
その他					
一般財源	0	932	932		

3 事務事業の実績	事務事業内容	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化を図るため、杉並区を中心としたスポーツ交流を推進する事業であるが、新型コロナウイルスの影響により対象事業すべての派遣が中止。 ○対象団体 杉並区とのスポーツ交流事業実施団体 ○対象事業 ・少年野球交流大会(南相馬市少年野球連盟) ・杉並区交流自治体スポーツ交流大会(南相馬市バレーボール協会) ・杉並区中学校対抗駅伝大会(南相馬市陸上競技協会) ・南相馬市・杉並区・取手市少年野球交流大会(南相馬市少年野球連盟) ・交流自治体中学生親善野球大会(南相馬市野球協会) ・南相馬市・杉並区・取手市ミニバスケ交流大会(原町ミニバスケスポーツ少年団)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を実施できず、成果指標が悪化したが、多種多様な自治体とのスポーツ交流への参加市民の割合を引き続き高め、子どもたちを中心としたスポーツに親しむ機会の拡充や競技力の向上、スポーツ交流による交流人口の拡大を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	みらい元気挑戦 スポーツ招致事業	担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	スポーツの重要性について意識高揚を図るとともに、市民一人ひとりの活力を取り戻すため、市内スポーツ施設にスポーツイベントを招致するなど、プロスポーツ選手のプレイを身近に観戦できる機会を提供する。					
	見込まれる成果	スポーツの重要性についての意識の高揚や運動不足の解消と健康増進を図る。					
<small>右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	636	636		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	636	636	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	市民にプロ等のスポーツ選手による試合観戦の提供や市民が楽しめる下記イベント等を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止。 ○BCリーグ公式戦(福島レッドホープス) ・開催日 令和3年7月予定 ・場 所 みちのく鹿島球場 ○南東北大学野球リーグ戦 ・開催日 令和3年9月予定 ・場 所 みちのく鹿島球場			
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	公式戦の観戦機会の提供	1回以上	0回		
事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	B	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
	事業実施主体	事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を実施できず、成果指標が悪化したが、スポーツ観戦を通じて、スポーツに触れる機会を作り、運動不足の解消や健康増進を図るため、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査					重点区分		実施区分	継続
------------------------------	--	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興		
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	みらい夢こども交流事業補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
			事業期間	平成 27 年度 ~	令和 年度	その他の内容	
	事業の目的	本市の子どもたちと招待自治体の子どもたちとの交流会や、マラソン大会招待選手等による陸上競技のワークショップ等を実施する団体に対し、補助金を交付する。					
見込まれる成果	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充や、スポーツ団体等の活性化が図られる。また、スポーツ交流を契機としての交流人口の拡大につながる。						
右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	本市の子どもたちと招待自治体の子どもたちとの交流会や、マラソン大会招待選手等による陸上競技のワークショップ等を実施する団体への支援として、野馬追の里健康マラソン大会実行委員会へ補助金を交付する。 ○事業主体 野馬追の里健康マラソン大会実行委員会 ○補助金額 5,254千円 ○事業名 第10回みらい夢こども交流事業 ○開催日 令和3年12月4日(予定) ※新型コロナウイルスの影響により中止			
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
		参加交流自治体数	13自治体以上	0	
事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を実施できず、成果指標が悪化したが、子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化及びスポーツ交流を契機としての交流人口の拡大につながるから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	健康スポーツ推進事業		担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図るため、市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催する。						
	見込まれる成果	市民一人ひとりがスポーツに取り組むことによる市民のスポーツ人口の拡充と健康増進を図る。						
<small>右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	547	1,500	1,500		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	547	1,500	1,500			

3 事務事業の実績	事務事業内容	市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図るため、市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催した。 ○対象者 全市民 ○開催回数 年12回(1回/月) ○開催内容 4月スカットボール・輪投げ、6月カーリンコン、8月輪投げ、9月体力測定会、10月室内ベタンク、11月屋内ディスクゴルフ12月ポッチャ、3月ウォーキング ※5月、7月、1月、2月は新型コロナウイルスの影響により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	健康スポーツ教室の参加者数	40人以上/回	23人/回	
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を中止する月があったため、成果指標が悪化した。健康スポーツ教室への参加市民の割合を引き続き高め、健康増進と運動不足の解消を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	地域スポーツ振興助成事業補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	市民のスポーツ活動事業の振興育成を図るため、市内の各地域で開催されるスポーツ大会に対し、補助金を交付する。					
	見込まれる成果	市民のスポーツ機会の拡充と健康増進やスポーツ活動における交流機会の活性化を図る。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	335	500	500		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他						
一般財源	335	500	500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	市民が気軽にスポーツを楽しむ交流機会の活性化を図るため、市内の各地域で開催されるスポーツ大会に対して補助金を交付し、市民のスポーツ活動事業の振興育成を図った。 ○事業主体 スポーツ活動事業を実施する団体 ○補助金額 定額 ○対象事業 第19回高平地区ふれあいオリンピック事業(高平地区ふれあいオリンピック実行委員会)参加者118人 開催日:令和3年8月19日～9月17日 令和3年鹿島区民グラウンドゴルフ大会(鹿島区グラウンドゴルフ協会)参加者116人 開催日:令和3年11月20日 鹿島区パークゴルフ大会(かしまパークゴルフ協会)参加者110名 開催日:令和3年12月18日			
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	補助金交付事業数	6件	3件		
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
	事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他	
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由	令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により中止した事業があったため、成果指標が悪化したが、市民のスポーツの機会の拡充や健康増進、スポーツ活動における交流機会の活性化を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業 の内容 右側「実施区分」が 「拡充」の場合、令 和元年度と比較し て拡充した内容を 記載	事務事業名	健康マラソン大会補助金		担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	市民の健康増進を図るため、健康マラソン大会を実施する実行委員会に対し、補助金を交付する。						
	見込まれる 成果	本市の元気を発信することでのイメージの回復や、子どもたちを中心とした競技力向上と健康増進が図られる。						
	事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		その他の 内容				

2 予算・ 決算 財源内 訳	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	5,136	5,236	5,236	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	5,136	5,236	5,236	0	

3 事務事業 の実績	事務事業内容	市民の健康増進を図るため、健康マラソン大会を開催する「野馬追の里健康マラソン大会実行委員会」の活動を支援した。 ○事業主体 野馬追の里健康マラソン大会実行委員会 ○補助金額 5,136千円 ○開催日 令和3年12月5日(日) ○部門 1. 5km、2km、3km、5km、10km、ハーフ、親子ペア、ウォーキングの計38部門 ○参加者 2,506人		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	市内小中学校からの団体申込み	25団体以上	19団体	
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	B	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により団体申し込みが減少し、成果指標が悪化したが、市民のスポーツや運動する人の割合を引き続き高め、市民の健康増進と運動不足の解消を図ることから、感染状況を踏まえて改善しながら継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	いわい将門ハーフマラソン大会参加事業補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	歴史的に縁のある茨城県坂東市とマラソンを通じて交流を図るため、大会参加に必要な経費に対し、補助金を交付する。					
	見込まれる成果	子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ交流を契機に交流人口の拡大につながる。					
<small>右に「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	1,300	1,300		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	1,300	1,300	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	歴史的に縁のある茨城県坂東市とマラソンを通じて交流を図るため、いわい将門ハーフマラソン大会派遣事業の事業主体である「野馬追の里健康マラソン大会実行委員会」の活動を支援する。 ○実施主体 野馬追の里健康マラソン大会実行委員会 ○補助金額 1,300千円 ○大会名 いわい将門ハーフマラソン大会 ○開催日 令和3年11月14日(日)予定 ○参加者 選手・スタッフ 約60人予定 ※新型コロナウイルス感染症の影響により大会中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	大会交流派遣者数	40人以上	0人	
事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
	事業実施主体		A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により大会へ参加者を派遣することができなかったが、子どもたちを中心とした市民のスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ交流を契機に交流人口の拡大に繋げることが必要であることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	子どもスポーツ活動促進事業		担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	子どもたちのスポーツ意欲の増進を図るとともに、利用しやすい環境を確保するため、スポーツ施設利用料等の免除を行う。						
	見込まれる成果	子どものスポーツ施設利用料を免除することにより、スポーツを行う機会を確保することができることと、スポーツ意欲の増進や運動不足の解消が図られる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,564	2,500	2,500	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,564	2,500	2,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	子どもたちのスポーツ活動の機会を増加させるため、スポーツ施設利用に係る費用を免除し、免除減収分をスポーツ施設指定管理者へ補填した。 ○対象 ・市内の小学校、中学校及び高等学校に通学する児童及び生徒 ・市内に住所を有する者で、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるもの。 ・東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律第2条第3項に規定する避難住民のうち、市内に居住する者で18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるもの。 ○対象施設【スポーツ施設指定管理者】 ・小高区内スポーツ施設(浮舟うきうきクラブ) ・鹿島区内スポーツ施設(かしま元気スポーツクラブ) ・原町区内スポーツ施設(太田大壘スポーツクラブ) ・屋内市民プール(楳東武相双支店) ・パークゴルフ場(楳東武)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 子どもたちのスポーツ施設使用料を免除し、スポーツを行う機会の確保やスポーツ意欲の増進を図ることが引き続き必要であることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業 の内容	事務事業名	交流・滞在型スポーツ支援事業	担当課	スポーツ推進課		実施方法	その他 <small>※下段に内容を記載</small>
	事業の目的	スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、滞在型スポーツ大会等を誘致する。					
	見込まれる 成果	スポーツの活性化と各種目の競技水準の向上や経済・観光交流を含めた経済効果につながる。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	700	500	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	700	500	0		

3 事務事業 の実績	事務事業内容	スポーツの活性化と各種目の競技水準の向上を図るとともに、経済・観光交流も含めた経済効果に繋げるため、滞在型スポーツ大会等を誘致し事業を支援するために負担金を交付する。 【滞在型スポーツ大会対象事業】 ・第73回東北学生卓球選手権大会 開催日 令和3年6月予定 負担金額 200千円 ※新型コロナウイルスの影響により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	誘致大会数	1大会以上	0	
事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により事業を実施できず、成果指標が悪化したが、滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツの活性化と各種目の競技水準の向上や経済・観光交流も含めた経済効果に繋げるため、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	交流・滞在型スポーツ事業補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	本市で開催される滞在型スポーツ大会において、子どもたちの競技力向上や指導者の指導力向上、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るために開催される事業に対し、補助金を交付する。					
	見込まれる成果	スポーツの活性化と各種目の競技水準の向上や経済・観光交流を含めた経済効果につながる。					
<small>右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	1,000	1,000		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他						
一般財源	0	1,000	1,000	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	スポーツの活性化と各種目の競技水準の向上を図るとともに経済・観光交流も含めた経済効果に繋げるため、本市において開催される交流・滞在型スポーツ大会等を誘致し、事業を支援するために補助金を交付する。 ○事業主体 野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会 ○補助金額 1,000千円 ○事業名 野馬追の里第47回浮舟杯卓球大会第8回トップアスリート教室 ○開催日 令和4年2月12日～2月13日(予定) ※会場であるスポーツセンターが改修中であったため中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	滞り型スポーツ大会等を誘致し、子どもたちの競技力向上や指導者の指導力向上、スポーツの活性化と競技水準の向上を図るとともに経済・観光交流を含めた経済効果に繋げることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組めます。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	スポーツ大会等出場激励金		担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	スポーツの普及・振興と技術の向上を図るため、東北大会以上の上位大会に参加出場する選手に対し、激励金を交付する。						
	見込まれる成果	市民が上位大会に出場することにより、より高い目標を目指す意識の醸成及び全国的に活躍できる選手の輩出や選手の強化育成と競技力の向上を図る。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,943	2,500	2,500	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,943	2,500	2,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	市民がより高い目標を目指す意識の醸成や高度な技術の習得など、市民のスポーツ競技力の底上げとなることから、国際大会や全国大会などの上位大会に参加する活動を支援した。 ○対象者 東北大会以上の上位大会に参加出場する選手 ○交付件数36件 国際大会 2件 全国大会(高校総体・高校選抜大会) 4件 全国大会(高校生以下が参加するもの) 18件 全国大会(大学生以上が参加するもの) 5件 東日本大会(東日本20都道府県以上) 1件 東北大会(東北6県以上) 11件		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	全国大会等出場に係る助成件数	30件以上
令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施				

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 国際大会や全国大会などの上位大会に参加することにより、市民がより高い目標を目指す意識の醸成や高度な技術の習得など市民のスポーツ競技力の向上の底上げを図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	スポーツ少年団活性化補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	スポーツ少年団の団員及び指導者の育成と活性化を図るため、スポーツ少年団本部の事業に係る経費に対し、補助金を交付する。					
	見込まれる成果	南相馬市スポーツ少年団の育成と活性化や単位団体の組織力向上を図る。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	409	1,500	1,500	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他						
一般財源	409	1,500	1,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	南相馬市スポーツ少年団の団員及び指導者の育成と活性化を図るため、南相馬市スポーツ少年団本部の事業に係る経費に対し補助金を交付し活動を支援した。 ○事業主体 南相馬市スポーツ少年団本部 ○補助金額 409千円 ○実施内容 シニアリーダー育成に係るジュニアリーダースクールへの参加指導者としての認定員・認定育成員の資格取得 スポーツ少年団交流活性化事業		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 南相馬市スポーツ少年団本部を引き続き支援し、団員及び指導者の育成と活性化を図るため、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	レクリエーション協会事業補助金	担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
			事業期間	平成 27 年度 ~	令和 年度	その他の内容	
	事業の目的	加盟団体会員と参加市民の育成と活性化を図るため、レクリエーション協会が実施する事業に対し、補助金を交付する。					
見込まれる成果	市民のスポーツ機会の拡充と健康増進やスポーツ活動における交流機会の活性化及び南相馬市レクリエーション協会の育成と単位団体の組織力の向上が図られる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	674	1,075	1,075		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他						
一般財源	674	1,075	1,075	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	市レクリエーション協会加盟団体会員や参加市民の育成と活性化を図るため、南相馬市レクリエーション協会の事業に係る経費に対して補助金を交付し活動を支援した。 ○事業主体 南相馬市レクリエーション協会 ○補助金額 674千円 ○開催事業 スポーツレクリエーション祭 研修事業等 ニュースポーツ見本市 ※新型コロナウイルスの影響により中止 生涯スポーツ教室の開催			
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
		市レクリエーション協会加入者数	1,698人	1,237人	
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により成果指標が悪化したが、市民のスポーツ機会の拡充と健康増進、スポーツ活動における交流機会の活性化や南相馬市レクリエーション協会の育成と単位団体の組織力の向上を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	体育協会事業補助金		担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
				事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度	その他の内容		
	事業の目的	競技スポーツの育成と活性化を図るため、体育協会が実施する事業に対し、補助金を交付する。						
見込まれる成果	南相馬市体育協会の育成と活性化や単位団体の組織力向上を図る。							
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	2,437	3,690	3,690	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	2,437	3,690	3,690	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	競技スポーツの育成と活性化を図るため、南相馬市体育協会の事業に係る経費に対して補助金を交付し活動を支援した。 ○事業主体 南相馬市体育協会 ○補助金額 2,437千円 ○開催事業 市総合体育大会(令和3年9月~令和4年2月) 24競技のうち6競技が新型コロナウイルスの影響により中止 競技力向上対策事業(令和3年9月~令和4年2月) 9事業のうち2事業が新型コロナウイルスの影響により中止 スポーツ振興助成事業(令和3年4月~令和4年1月)8事業のうち1事業が新型コロナウイルスの影響により中止		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	
市体育協会加入者数		2,695人	2,782人	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 南相馬市体育協会の活動を引き続き支援し、競技スポーツの育成と活性化を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査					重点区分		実施区分	継続
------------------------------	--	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興		
------------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	県縦断駅伝競走大会補助金		担当課	スポーツ推進課		実施方法	補助金
	事業の目的	長距離選手の強化育成を図るため、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会の参加に必要な経費に対し補助金を交付する。						
	見込まれる 成果	市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会参加への支援の充実を図り、本市の長距離選手の強化育成につながる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,200	1,200	1,200	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,200	1,200	1,200	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	本市の長距離選手の強化育成を図るため、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会参加への支援として、南相馬市陸上競技協会へ補助金を交付した。 ○事業主体 南相馬市陸上競技協会 ○補助金額 1,200千円 ○実施事業 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会への参加 駅伝競走大会への強化練習会の実施 ○開催日 令和3年11月21日(日) ○場所 郡山～福島 95.0km 16区間 ○結果 総合17位・市の部8位/13市		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	
駅伝大会への強化練習会 実施回数		6回以上	23回	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはあるか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはある E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 本事業は、本市の長距離選手の強化育成につながることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興
--------------	------	----------	------	---------------	----	----------

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組めます。	
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人

1 事務事業の内容	事務事業名	スポーツ少年団選手派遣事業補助金	担当課	スポーツ推進課	実施方法	補助金
	事業の目的	スポーツ少年団活動を通じた少年少女の健全育成と競技力向上に資するため、県大会以上の大会に参加するスポーツ少年団に対し、補助金を交付する。				
	見込まれる成果	スポーツ少年団員が上位大会に出場することによる、より高い目標を目指す意識の醸成とスポーツ少年団員の健全育成と競技力の向上につながる。				
右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	310	1,300	1,300	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	310	1,300	1,300	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	スポーツ少年団員が上位大会に出場することによる、より高い目標を目指す意識の醸成とスポーツ少年団活動を通じた団員の健全育成及び競技力の向上を図るため、県大会以上の大会に参加する市スポーツ少年団に対し、大会参加に係る経費に対する補助金を交付し活動を支援した。 ○補助対象 市スポーツ少年団 ○補助率 8/10 ○補助金額 5万円～30万円 ○交付件数 6件(野球1件、サッカー2件、バスケットボール3件)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	補助金交付件数		19件	6件
事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により中止となった大会もあり、成果指標が悪化したが、スポーツ少年団員が上位大会に出場することにより、子どもたちのより高い目標を目指す意識の醸成とスポーツ少年団活動を通じた団員の健全育成及び競技力の向上を図ることから、現状のまま継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査					重点区分	重点	実施区分	継続
------------------------------	--	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興		
------------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(3) 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,193人	5,280人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,558人	2,583人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	体育施設整備事業		担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
				事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		その他の内容	
	事業の目的	市民の健康増進・競技力向上並びに利用者の利便性を図るため、体育施設の整備を行う。						
	見込まれる成果	スポーツ施設の修繕・備品更新等の環境充実を図ることによる、スポーツ施設利用者の利便性の向上と市民の健康の増進につながる。						
	右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	5,565	6,628	6,628	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		2,885				
一般財源	2,680	6,628	6,628	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	市民の健康増進とスポーツ施設利用者の利便性を図るため、スポーツ推進計画に基づき施設整備を実施した。 ○整備内容 ・小川町体育館雨漏り修繕工事 ・小高体育センタートレーニング機器更新 ・小川町体育館バスケットゴール修繕 ・鹿島多目的グラウンド予定地側溝堆砂除去作業		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		工事対象施設巡視及び監督員との協議	年4回以上	7
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはあるか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 スポーツ施設を整備し、施設の環境充実を図ることにより、スポーツ施設利用者の利便性の向上と市民の健康増進につながるから、スポーツ推進計画に基づき施設整備を継続する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査					重点区分		実施区分	新規
------------------------------	--	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興		
--------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(3) 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,107人	5,193人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,533人	2,558人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	市民プール更新事業		担当課	スポーツ推進課	実施方法	直営
	事業の目的	市民の健康増進と利用者の利便性の向上を図るため、屋内温水プールを整備する。					
	見込まれる成果	屋内温水プールを整備することにより、利用者の利便性の向上と健康増進につながる。					
<small>右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	112,978	680,574	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	59,451	87,218		
		県支出金				
		地方債	44,700	534,000		
		その他	2,556	59,356		
一般財源	6,271	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	老朽化の進む「南相馬市民プール」及び「南相馬屋内市民プール」の2施設を集約し、屋内温水プールとして整備し、市民の健康増進と利用者の利便性の向上を図った。 ○事業内容 ・南相馬市民プール解体工事 ・屋内温水プール更新実施設計(令和2年度より継続) (令和2年度 南相馬市民プール基本設計・解体実施設計、地質調査業務委託、実施設計業務委託)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っているか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 理由 令和3年度に引き続き、更新事業(建設工事)を継続して実施する。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	新規
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(3) 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,107人	5,193人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,533人	2,558人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事	担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	市民の使用に供する陸上競技場について、第3種公認(更新)を得るために改修が必要なことから、改修工事等を行う。					
	見込まれる成果	雲雀ヶ原陸上競技場を整備(第3種公認)することにより、利用者の利便性の向上と健康増進につながる。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	110,456	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	20,800			
一般財源	89,656	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	施設の環境を充実することにより、市民の健康増進と利用者の利便性の向上を図るため、雲雀ヶ原陸上競技場の改修工事(第3種公認(更新)取得)を実施した。 ○事業内容 ・雲雀ヶ原陸上競技場改修工事 ・更新に係る競技用備品購入		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	A	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	E	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 第3種公認取得のための改修工事であったため、令和3年度で完了。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(3) 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時現状値	令和3年度末実績値	【参考】令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,107人	5,193人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,533人	2,558人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	スポーツセンター大規模改修事業	担当課	スポーツ推進課	実施方法	直営
			事業期間	令和2年度～令和3年度	その他の内容	
	事業の目的	市民の健康増進と利用者の利便性の向上を図るため、スポーツセンターの大規模改修を行う。				
見込まれる成果	スポーツセンターの環境充実を図ることによる、施設利用者の利便性の向上と健康増進を推進する。					
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	525,294	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	33,337			
		県支出金				
		地方債	442,700			
		その他				
一般財源	49,257	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	施設の環境を充実することにより、市民の健康増進と利用者の利便性の向上を図るため、スポーツセンターの整備を実施した。 ○改修工事内容 ・アリーナ床改修 ・館内空調設備更新 ・アリーナ照明LED化 ・トイレ改修			
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	A	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性		E	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 理由 施設利用者の利便性の向上を図るための改修工事であったため、令和3年度で完了。

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3) 生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
--------------	------	----------	------	---------------	----	----------	--

教育振興基本計画後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン相手国との相互交流を推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,107人	5,193人	5,369人	
	市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,533人	2,558人	2,608人	

1 事務事業の内容	事務事業名	復興「ありがとう」ホストタウン推進事業	担当課	スポーツ推進課		実施方法	直営
	事業の目的	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて交流人口を拡大するため、震災後の支援に対する感謝と復興状況の発信をすることも様々な交流事業を実施する。					
	見込まれる成果	交流相手国選手団等との交流により、交流人口拡大を図る。					
<small>右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>							

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,087	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,087	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	【交流相手国】 東日本大震災時に支援いただいた国と地域 ジブチ共和国(陸上競技) 台湾(野球) 米国(サーフィン) 韓国(スケートボード) ○実施内容 ・ ジブチ共和国大使 来市(8月17日) ・ オンライン交流事業(台湾 7月2日、台湾 12月26日)					
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した				
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	相手国選手団との事後交流実施回数	目標値(令和3年度)	1回	実績値(令和3年度)	0回
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施				

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている			
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他			
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化			
	事業の方向性	E	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由	令和3年度までの時限事業であり、令和3年度で完了。		

教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑨スポーツの振興	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	2 生涯学習・スポーツ	施策	3 スポーツの振興	取組方針	(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン相手国との相互交流を推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度末 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	スポーツ施設の利用者数		366,233人	242,246人	371,753人	373,611人	375,000人	
	スポーツ団体への加入者数		4,924人	4,019人	5,107人	5,193人	5,369人	
市総合体育大会への参加者数		2,317人	1,599人	2,533人	2,558人	2,608人		

1 事務事業の内容	事務事業名	東京2020関連市民参画推進事業	担当課	スポーツ推進課	実施方法	直営
	事業の目的	東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるため市民観戦チケット抽選配付をはじめとする市民参加によるオリパラ関連事業を実施する。				
	見込まれる成果	市民が観戦する立場で東京2020大会に関わり、あらゆる立場でスポーツに参画する機運を醸成する。				
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	666	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	666	0	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	○実施内容 ・ 市民参画観戦事業(聖火リレーボランティアに従事した市民への観戦チケット抽選配付) ・ 東京2020NIPPONフェスティバルへの出展(5月29日、雲雀ヶ原祭場地)			
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
	事務事業の成果(活動)指標達成度	A	東京2020大会市民参画観戦事業の参加者	100人	132人
		令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施			

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	E	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 令和3年度までの時限事業であり、令和3年度で完了。